

2020年6月号 No.205

むし歯でも歯周病でもない第3の歯の病気

今月の担当は歯科医師 神農です。今回のテーマはタイトルの通り、第3の歯の病気です。

これまでは歯の病気といえば、むし歯、歯周病の2大巨頭が幅をきかせていました。ところが、ここ数年でこれ以外の第3の病気が注目されてきています。それが「Tooth Wear」というものです。

大まかな定義は細菌が原因では無い歯の欠損というものです。ここからさらにいくつかに分類されるのですが、そのうちのひとつ、「**酸蝕症**」についての紹介です。これは漢字から推測されるように、酸で歯が溶ける病気です。むし歯もむし歯菌が出す酸で歯が溶ける病気なのですが、むし歯菌以外の酸で歯が溶けるもの全般を指します。

むし歯との違いは原因の他に、被害を受ける範囲があります。むし歯は歯垢が溜まっているところだけが酸で溶けていくのに対して、酸蝕症は口の中全体で広範囲に起こることが多いのです。すぐに対処する必要が無い軽度なものも含めると日本では**4人に1人**が罹患していると言われています。結構多いでしょ？

さて、酸蝕の原因となるむし歯菌由来以外の酸のうちの一つに、酸性ガスがあります。酸性ガスは日常では扱うことは

6月4日・11日・18日・25日(木)は休診です。

よろしくお願ひ致します。

あまり無く、この病気は職業として酸性のガスを扱う人がかかる病気でした。ところが、**飲食習慣の変化**によって増加したといわれています。柑橘類や酢系食品、炭酸飲料、スポーツドリンク、お酒等がこれに相当します。また、逆流性食道炎、摂食障害などの疾患も原因としてあげられています。

実は、この酸蝕症の治療、とても**難しい**のです。基本的にはむし歯の治療と同様に無くなった歯の部分に詰め物をする事で治すのですが、酸は接着にとっても悪い！せっかく詰めたものがすぐとれてしまうのです。

他にも、酸で弱った歯はむし歯になりやすくなったり、知覚過敏を引き起こしたりもします。治しにくい分、むし歯よりやっかいかもしれません。

と、まあこのようにわりと怖く、治しにくい病気なので、しっかり**予防**しましょう。逆流性食道炎、摂食障害などはお医者さんで相談し、口の中に害が出る前に対処しましょう。飲食習慣はどれも過剰摂取が原因なので、習慣の見直しを。

今回はここまでです。



酸蝕症

酸に触れたところが広範囲に溶けていく



むし歯

むし歯菌が酸を出したところだけ溶けていく



医療法人 SHT
まき歯科・矯正歯科クリニック
Smile Health Thanks



〒700-0975 岡山市北区今3-1-35

TEL 086-243-1006

FAX 086-243-1106

HP: <http://www.maki-dental.jp>

Mail: makishika@do5.enjoy.ne.jp

まき歯科ブログはこちら↓ よろしくね。

<http://blog.livedoor.jp/makishika/>